

北九州地区労連ニュース

2025年6月号 No. 224

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

Tel 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめなくて電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料
TEL093-921-0747

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

労働者が声を上げ、政治を変えよう



した。

◆最低賃金を1500円に

当面の取り組みでは、全国一律最低賃金制度を実現し、1500円とするために自治体要請や町村議会への要請に取り組みことが確認されました。

また、7月の参議院選挙は、政治を変える絶好のチャンスとして、地区労連として選挙の意義を広げ、市民と野党の共闘をすすめることが提起されました。

討論は、6人から発言があり、提起された議案が補強され、全員一致で承認されました。

◆評議員公発言①

*北九州市立病院契約労組 岸川評議員

医療を取り巻く状況、診療報酬改定が無く病院が決算で赤字が膨らむ。北九州市立病院は独法化で資金繰りが大変。昔は人勤で上がった。給料を上げないとスタッフ不足になるが、上げると病院がつぶれる。地方の中核病院でも診療報酬を上げて経営できても市民負担が増える。防衛費だけを爆増して米国言いなりでは、医療が崩壊する。今こそ安保廃棄すべきで、

秋に向けて要求を前進させた

*全教北九州 中川評議員

5月14日文科省の委員会で給特法が可決された。教育調整額を10%にするというが、長時間過密労働の解消にならない。予算も増えず、特別支援の先生への手当削減で帳尻を合わせている。給特法改正案を廃案にするために国会前集いや議員要請、本会議・委員会への傍聴など取り組んできた。修正案が出されたが、給特法第5条で「公立学校の教員に対して原則として時間外勤務を命じない」としているにもかかわらず、「平均時間外在校時間を月30時間程度に削減」とすること自体が時間外勤務を容認し、残業代を支払わないとする、労働基準法違反の行為です。抜本的修正をめざし、運動します。(P3に続く)



雨あがり

健和会大手町病院前の9条ひろばに「9条の碑」が建立し、温かみのあるコミュニケーションは心を奪われました。

「9」という数字が「ハート」を形成し、私たちの平和の根源は、やはり9条だと実感できるものでした。また、この碑は寄せられた募金や寄付金で建てられたと聞き、大切な想いがつまっているんだと、その背景にあるたくさんの方々の想いも感じ取れました。

私は5月3日の「9条まつり」「憲法集会」、福岡市で開催された「東アジアでの平和の準備を」のシンポジウムなど参加しました。

共通して9条を大切に、核兵器をなくし、武力での外交をやめようと語られ、その通りだと納得し、これからの活動にもがんばろうという活力をいただきました。まずは日本の政治を変えていきたいとつくづく思います。

世界の戦争のニュースや日本の酷い決断や選択を目にして、心落ち込んだり、くじけそうになったりするときは、9条の碑をながめて、触れて、もう一度元氣と勇気をいただくと思います。そういう背中を押してくれる碑だと感じます。(中)

なぜ原発を止められない!

さよなら原発の学習会が5月17日ウエルとばたで150人の市民が参加し、開催されました。講師の青木美希さんは、ジャーナリストで、子ども時代に父親が「再生エネルギー研究」をしていて国の予算がつかなくて生活に困窮していた時に「何故、原発が次々に建てられるのか疑問を持ち、それを知るために新聞記者をめざした」と話され始めました。

「原発一択が正しいのか、取材を続け、福島原発一号機は、今でも被爆レベルの放射線量だが、マスコミは報道しない。原発ゼロが国際的には進んでいる。台湾も5月17日に原発ゼロが実現の報道」と日本のマスコミの姿勢への疑問を投げかけました。

◆世論は、原発ゼロが大勢

「東日本大震災の避難者は、今も数万人いる。福島県双葉町の避難者に調査を継続しているが、『今も放射能汚染は続いている。復興は絵に描いた餅。セシウム137は半減まで30年かかる』と話された。福島原発の現状調査にも行ったが、壊れてない5号機の内部はサビだらけで100マイクロシ

ーベルトの線量が計測された」と現状を克明に報告されました。そして、「原子力文化財団アンケートでも将来的に原発廃止の方向が45%で維持・増加は18%となっているのにエネルギー基本計画で、原発を最大限活用に政府は舵を切っている」と語気を強められました。

◆機能しない被災者支援法

「東日本大震災から14年がたつのに2,8万人が避難されていると言われるが、現実には、もっと多い。帰還困難地域700世帯への支援を打ち切り、医療費も打ち切る検討を閣議決定している。救われる人がいるのに原発事故子ども・被災者支援法があるが機能していない。除染したという地域でも事故前の10倍の線量で本当に帰れるのか」と現状を話され、「メディアが福島の被害を何故報じないのか。全国紙では企画で潰される。経団連がつぶしに来るのでマスコミ各社が社の方針で書けないとの声も聞く。自分も福島原発を記事にして社の方針と対立し、フリーになった」と述べられました。

◆日本が原発を止めるには

村上達也前東海村村長に合

い「日本が原発を止めるには」と聞いたところ、「地方分権、地方自治、住民自治。住民が自分たちの地域をつくっていくんだ。人間としての尊厳とか誇りを大事にするような社会にならなければ。ただ金があればいい、就職口があればいい、その次元にとどまっている限り、原発を止めることはできない。一人ひとりが、自分に対しての尊厳とか誇りを持つとか、そういうことしないと。長いものに巻かれる、『和』は権力者にとって議論をする、そういう社会が良い」と話されています。自民党は、電力会社から献金やパーティー券購入を受けているので、企業献金を無くさないといけない。原発は安くない、税金で安く見せられている。福島事故も税金で賄うが、世界では、再生エネルギーが進み、経営のトップも再生エネルギー推進。異を唱えて原発を無くす運動を広げましょう、とまとめられました。



参議員選挙で消費税減税実現を

5月26日小倉駅で消費税廃止各界連の「消費税減税、インボイス廃止」署名・宣伝行動が取り组まれました。地区労連からも3人が行動に参加しました。



物価高騰が続き、私たちのくらしはひどく迫っています。物価高騰からくらしを守るには、消費税の減税が一番です。消費税を5%にすれば、年収500万円の世帯で年間12万円の減税になります。

安倍首相の下で2度消費税が引き上げられ、私たちの税負担でもっとも重いのが消費税です。しかも低所得の人ほど収入に対する負担が重いのも消費税です。

また、フリーランスや自営業者・中小企業を苦しめるインボイス制度も消費税減税と同時に廃止することが必要です。国会でも消費税減税に賛成する政党や議員が増え続けています。「いまこそ消費税減税を」の声を広げるために署名の協力を訴え、市民が足を止め署名しました。

◆減税の財源あります

消費税は、「社会保障のためにある」と自民党は主張します

が、消費税3%が導入された36年前、私たちが病院に行った時の初診料は1割負担でした。現在10%の消費税になって、初診料は3割に増えています。国民年金は月7700円の保険料が、17510円と倍以上になっていきます。

そして、大企業の法人税は42%から23%に減っています。大企業が減税になったことで労働者の賃金が上がっていったら問題ないですが、大企業の内部留保という儲けのたくわえは、58兆円から400兆円と爆増したのに、労働者の実質賃金は、下がり続けています。北九州市で予定されていた、

小中学校の大規模改修に国から予算がつかず見送られたのに防衛費は爆増しています。軍事費確保のために子どもたちを犠牲は許せません。

税金は、「戦争の準備でなく、平和・いのち・くらしのために使え」の声を大きく広げ、7月は参議院選挙で自公の議席を減らし、政治を変えよう、と呼びかけました。

いつまでも平和を

地区労連の戦跡巡り、第二弾です。

今回は、ウサギの島で人気の広島県竹原市大久野島を訪れました。



第一次世界大戦の反省から毒ガス兵器禁止条約ができ、日本も調印したのですが、秘密裏に毒ガス兵器を開発するため1917年から技術研究が始まり1929年に大久野島に毒ガス製造所がつくられました。そのため大久野島は地図から消されました。

ウサギは、実験動物として飼われました。忠海港の切符売り場は、ウサギのイラストや大きな写真が飾られていました。

フェリーに乗り15分ほどで島につくと次々にウサギが寄ってきて、エサをねだられます。

毒ガス資料館を目指す5分ほどで防空壕跡がありまし

た。そのすぐ近くに資料館があり、手前には陶器製の毒ガス製造機が。

15年で6616トンの毒ガスを製造し、戦後約3000トン残った毒ガスは処理されたそうです。資料館には、工場で働いて被害を受けた人の写真が。皮膚炎や肺炎、目に障害を受けたのに治療法はなかったとは、労働者を使い捨てにして本当にひどい。

資料館の先には、研究室と検査室が残っていました。

その先の休暇村を通り過ぎると毒ガスの貯蔵庫跡。内部が黒く焼けこげているのは、火炎放射器で焼却したからだそうです。

そこから5分ほど進むと北部砲台の跡地があり、軍都広島や呉軍港を守るために砲台が設置されていたとのことで、北部だけでなく中部・南部にもあります。

それから、フェリー乗り場に向かうと大きな建物があります。毒ガス工場のための発電所です。そして1100人もの13歳から15歳の子どもも動員され、防空壕を掘り、毒ガスを運ぶなど危険な作業をやらされたそうです。

かわいいうサギの島が毒ガスの怖さを戦争の悲惨さを知る島であったことに平和への願いを強く感じました。一周90分ほどで回れます。みなさんも是非訪れてください。



毒ガス資料館



陶器製の毒ガス製造機



防空壕

◆評議員公発言②

(P1の続き)

***年金者組合 野瀬評議員**

憲法共同センターで毎月第1土曜の憲法守れの宣伝行動をしている。大軍拡・大増税反対の新署名が提起された。6月24日火曜に生涯学習総合センターで18時から署名集約に向けた代表者会議を開催する。地区労連傘下のみなさんに参加してもらい、一人ひとりに話をして、軍拡反対の声を広げてほしい。

***健和会労組 平山評議員**

国の政策で医療経営が悪化している。健和会労組として2月に要求書提出し、3月に理事会から回答があり、賃金表の書き換えがあった。労働環境面で年次休暇の時間単位の拡大、カスハラ対応の法人としての指針など前進した。しかし、医療従事者は公定価格の診療報酬で働くので全職員の賃上げができない。経営側へのストは回避したが、診療報酬引き上げのため大手町病院と戸畑けんわ病院でスト集会を3月13日に行い、北九州地域では、国立小倉医療センター・九州労災病院・門司メディカルセンターでもストライキが決行された。引き続き働きやすい職場実現に

向け取り組んでいく。

***市職労 重野評議員**

福岡自治労連・北九市職労として組織拡大、新採対策に取り組んでいる。組合説明会で17人がアンケートに回答した。この人たちに担当を決めて訪問活動をして、6人が加盟した。今年、8月に自治労連の全国大会が小倉で開催される。成功が次の一歩につながる。大会ニュース「かたらんと」という名称になった。語ることに「仲間に入る事」の意味で、組合員が前向きになれると思う。要員では、ご協力をお願いしたい。

***争議団 道下副議長**

争議団共闘は、中村議長、道下事務局長の体制で運動している。明治学園の永井先生を職場に復帰させる闘争では、戸畑駅での宣伝行動が大きかったと思う。東筑紫高校で就業規則を守らない事案があり、裁判闘争に入った。また、林田組合員が県議団事務をしていたが県議ゼロとなり、県委員会に戻ることでパワハラを受け、回交し解決を求めた。退職金107万円提示されたが、メールでの回答。改めて未払いの残業代や有給休暇の買取りを求めているが、返事がなく不誠実な対応で裁判も検討している。

労働法コラム 第123

労働と賃金



黒崎合同法律事務所

三苫 和喜 弁護士

みなさんはなぜ労働をするのでしょうか。当然、労働自体にやりがいを感じることや、自らの成長を通して、人生の生きがいとすることもあるでしょう。しかし、労働することによる最大の目的は、労働の対価として賃金を得て、みなさんの生活を支えるということにあると思われまふ。日本においては、様々な形で、労働者の生活を守るために賃金に関する規定を置いています。

まず、労働者が賃金を請求する根拠としては、当事者の合意が挙げられます。就業規則や賃金規定、労働協約のほか、労働慣行によって定められることとなります。労働の対価として

賃金が発生することから、労働を行わなければ、賃金を請求することができないように思えます。しかし、使用者の責めに帰すべき事由によって就労不能となった場合には、賃金請求ができる場合があります。賃金請求できるのか、と悩んだ場合には、弁護士や組合に相談することを勧めます。

次に、賃金の支払い方法についてですが、①日本の通貨で、②直接本人に、③給与全額を、④毎月1回以上、一定期日を定めて支払わなければならない、とされています。

①については、日本円で支払うことが原則であり、外貨や現物、小切手などの支払いもできないとされています。もっとも、銀行振り込みはよいとされており、近年では電子マネーでの支払いも認められるようになります。

②については、親権者や代理人への支払も原則に反し、例えば借金をしている債権者への支払いなども禁止されています。

③については、原則として全額を支払わなければならないとされています。もっとも、社会保険料の控除や所得税の源泉徴収、労使協定による控除などは認められています。④については、当然のように思われま

すが、年俸制の場合でも月に1回以上の支払いが求められています。ちなみに、カナダでは月に2回以上の支払いが法律で定められているようです。

最後に、最低賃金についてです。日本では、労使間の力関係から低廉な賃金額が定められる恐れがあることや、企業間の不正な競争が生じることから、労働者の生活を守るために最低賃金が定められています。最低賃金については、地域における定めと、特定の産業についての特定最低賃金があり

ます。福岡県の最低賃金は1時間992円となっています。製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業最低賃金は、1106円となっています。最低賃金を下回る賃金額を定めた契約はその部分において無効となり、金額は最低賃金額に修正されます。さらに、地域別最低賃金を下回った場合には、罰則も用意されています。

このように、様々な形で労働者の賃金保証がなされています。次回は、労働時間について考えてみます。

北九州争議団で折鶴を!!

北九州地区労連は、戦後80年の今年、福岡県労連が「おもいつなげ、思いを届ける千羽鶴アクション」の呼びかけに応え、健和会労組や福建労北九州支部、市職労・学嘱労など所属する組合に千羽鶴の取り組みを平和運動として提起しました。

6月18日の北九州争議団共闘の定例会議では、県労連が取り組む「千羽鶴を長崎に」の呼びかけに応え、参加した全員が平和を祈りながら折鶴を折りました。



★映画と読書のすゝめ

古内 一絵

「お誕生会クローニエル」

(光文社文庫)

この本の単行本の初版1刷発行は、新型コロナウイルス流行によって社会が大混乱に陥った年です。「クローニエル」の意味は「年代記」「歴史記録」「物語」などです。「お誕生会」って皆さんは聞いてもらったり、参加したことがありますか？ そういえば年少のころはあったかなって感じですか？この本の解説には、次のようにあります。「昭和、平成、令和。現在を感いながら生きる様々な世代の人々が、大切な誰かの、自らの、誕生日を迎えて新しい一歩を踏み出していく感動の連作短編集。誰もが平等に迎え、一つずつ年を取ってお誕生日。喜びに溢れ、生まれたことに感謝する楽しいお誕生会。大事な人たちに祝ってもらおう特別な日でも、そんな理想の誕生日は、現実にあるの……?」と。

一編でも感動の作品があればと。一読を

